

# 指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度

令和3年度

## 1 基本情報

公の施設名	相模原市立相模湖ふれあいパーク
指定管理者名	公益社団法人 相模原市シルバー人材センター
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
施設設置条例	相模原市立相模湖ふれあいパーク条例
施設の設置目的	市民及び相模湖を訪れる者の利便を図るとともに、市民と相模湖を訪れる者の交流及び憩いの場を提供するため
施設概要	相模原市緑区与瀬1183番地2 駐車場(自動車駐車場14台、月単位自動車駐車場7台) 駐輪場(月単位オートバイ26台、月単位自転車16台) 公園、公衆便所等 自動車駐車場開所時間(午前8時～午後8時、1月1日～1月3日まで休所)
施設所管課	緑区役所区政策課

## 2 管理実績

項目(単位)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数合計(人)	14,367	13,916	13,674	13,055	12,652	10,818	12,572
利用料金合計(円)	4,323,579	3,835,741	4,108,414	3,855,016	3,543,491	2,778,377	3,141,333
回転率	2.73	2.65	2.61	2.49	2.40	2.06	2.40

## 3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
<b>C</b>	回転率2.7の成果指標を達成した平成28年度以降、利用者数の減少傾向と同様に実績値が減少している。令和3年度については、前年度と比較して回転率が上昇したものの、コロナ禍における外出自粛の影響が残っているものと考えられる。なお、本施設は、通勤・通学者の駐車場・駐輪場としての役割があることから、コロナ禍の中でも休場・閉鎖を行わなかった。 【評価基準は、当該年度の達成度が80%以上90%未満のため、C評価】

### 指標

指標名(単位)	回転率(台)
指標式と指標の説明	年間延べ利用台数÷(収容台数×営業日数)

項目(単位)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値(台)	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7
実績値(台)	2.7	2.7	2.6	2.5	2.4	2.1	2.4
達成度(%)	100.0%	100.0%	96.3%	92.6%	88.9%	77.8%	88.9%

#### 4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	<p>コロナ禍の緊急事態宣言が発出されるまでの間、さがみ湖やまなみイルミネーション事業に参画し、相模湖駅周辺の活性化に寄与するとともに、本施設の憩いの場としての側面をアピールした。</p> <p>また、事業の記載はないが、来園者から評価されている一年草の植え付けや植木の手入れを本年度も行い、市民や相模湖を訪れる者を季節の花で出迎え目を楽しませるなど、来園者の交流及び憩いの場を提供することに貢献している。</p> <p>【評価基準は、基礎シート1記載の達成度が100%以上125%未満のため、A評価】</p>

##### 市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
(なし)			

##### 企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
(なし)			

##### 自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
相模湖やまなみイルミネーション	12月～1月	冬季の相模湖の誘客を促し、地域の活性化を図るため、12月1日から翌年1月9日まで実施した。	○

##### 【参考掲載】

さがみこ湖上祭時一時利用駐車場時間延長事業	8月	新型コロナウイルス感染症拡大により、さがみこ湖上祭が中止になったため、実施できなかった。	/
刃物研ぎ	3月	年度末に実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により実施できなかった。	/

#### 5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	<p>平成9年4月開設の施設で老朽化が進んでいるものの、公園利用者から「綺麗」との声を多く頂いたのは、清掃業務について新型コロナウイルス感染症感染予防の観点から、衛生状態をより良好に保持したことが要因と考えられ、評価できる。一方、施設自体の使いにくさや利用時間の延長等についての意見もみられるため、検討の余地がある。施設に関しては指定管理者での対応だけでは難しい面もあり、また、利用時間についても条例に絡んでくる部分であるので、市と連携しながら対応を検討していただきたい。</p> <p>【評価基準は、下記記載の達成度が100%以上110%未満のため、A評価】</p>

##### 利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	利用者へのアンケート調査を実施 時期:令和4年1月14日から2月18日まで サンプル数:49名
目標値の基準	利用者の総合的な満足度の設問に対する「非常に満足」と「満足」の合計の割合

項目（単位）	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値（%）	/	/	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値（%）	/	/	96.4	81.1	89.0	95.5	97.9
達成度（%）	/	/	107.1%	90.1%	98.9%	106.1%	108.8%

##### その他の取組

取組事項	時期	取組内容
意見箱	通年	駐車場の入口の壁に意見・要望用の意見箱を設置している。

## 6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>B</b>	<p>施設の収支状況は本体事業収支、全体収支ともマイナスとなっているが、指定管理者団体本体の経営状況に特段の問題はないことから、B評価となった。</p> <p>団体の経営状況は安定しており、施設を運営するに十分な経営規模資力を有する。財務内容は健全であり、リスクのある投資はなく、借入金は0である。収益性がやや低いが、公益目的事業割合が大きく、収支相償の法人の性質によるもので不安はない。</p> <p>【評価基準は、基礎シート3の団体本体の経営状況が「特段の課題はない。」10点のため、B評価】</p>

施設の収支概要		※直近3年間について記載		
		(円)		
項目		令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入（a）		7,562,755	6,852,955	7,204,295
指定管理料		3,986,480	4,062,962	4,062,962
利用料金収入		3,543,491	2,778,377	2,990,806
その他の収入		32,784	11,616	150,527
支出（b）		8,065,257	8,533,487	8,890,681
人件費		5,489,499	5,672,413	5,626,285
本社管理経費		0	0	0
その他の支出		2,575,758	2,861,074	3,264,396
本体事業収支 【(a)-(b)】(c)		-502,502	-1,680,532	-1,686,386
自主事業収入（d）		0	0	0
自主事業支出（e）		0	0	0
自主事業収支 【(d)-(e)】(f)		0	0	0
全体収支 【(c)+(f)】		-502,502	-1,680,532	-1,686,386
備考				

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

## 7 管理業務の履行状況

検査方法	履行管理に関するチェックシートを使用した現地調査、指定管理者へのヒアリング
実施時期	令和4年3月28日

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

## 8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	×
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	×
その他取り組んでいること	

## 9 指定管理者の自己評価

令和2年度からコロナ禍の影響が続きましたが、利用台数及び回転率は令和元年度の水準に回復をしました。しかし、一時利用料金収入は短時間での利用が多いため令和元年度の80%程度の収入にとどまりました。収支については前年度に続き約170万円もの赤字決算となりました。利用料金収入は増加しましたが、不具合により屋上庭園池の給水が続いたことによる上下水道費の増加や燃料費高騰による電気料金の負担が過大になりました。

そうした中、地域との連携をとり、当年度もよまなみイルミネーションに参加しました。また、利用者の満足度については、平成29年度からの指定管理期間で最高値となり、高い評価をいただくことができました。

## 10 所管課意見

令和3年度も昨年度に引き続き、コロナ禍により日本社会は大きな影響、経済的ダメージを受けた。本施設については、コロナ禍による外出自粛の影響が残るものの、地域のインフラとして稼働を続け、利用台数や回転率には回復の兆しが見える。

満足度調査にあっては、施設の老朽化が進んでいる中、利用者の約98%が満足している状況は、指定管理者のコロナ禍を踏まえた丁寧な清掃や季節の花の植栽などによるおもてなし、接客等の日常業務の賜物と考えられ、適切な施設管理の状況、努力が窺える。施設修繕に関しては、市の財政状況に鑑みると厳しい側面があるが、引続き実施可能な事項の検討を行い、創意工夫を図っていきたい。

今後もコロナ禍で不透明な状況が続くが、利用者の利便性を向上し、利用者数及び利用料金収入の安定化を図るためにも、指定管理者と連携しながら、「利用時間延長」や「利用料金改定」等の課題にも取り組んで参りたい。

## 11 選考委員会意見

本施設は通勤・通学者の利用に資する目的があることから、コロナ禍においても休業せずに営業し、指定管理者に財政的負担が生じているなか、利用者数回転率は回復されつつある。昨年度と同様に工夫した指標の設定や財政的支援等を検討し、成果指標の達成度をより向上してほしい。

アンケートの集計が利用状況に対して少ないため、より多くアンケートをもらえるよう工夫し、いただいた意見をもとに利用者満足度や評価の向上に努めてほしい。

令和4年度より指定管理者が変わったことに加え、指定管理料も大幅に増加していることから、当初の実施計画の沿った運営がされているか、また、昨年度との比較を行い今後の指定管理の取組み方を検討してほしい。

総合評価（自動判定）

**B**

(60/100)

